

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

最終列車繰り上げと 列車本数の削減を！

感染拡大を防ぎ、現場労働者の命を守るため

【4月16日 動労千葉 JRへの申し入れ概要】

- 当面、日中帯を含めて、列車本数の削減を行うこと。また、最終列車の繰り上げを行うこと。
- 状況によっては全面的な列車運休を実施すること。
- 業務計画を見直して不要不急の業務は中止し、出勤する人数を削減すること。
 - ・いまだに車両研修会が行われている実態があることから、一切の研修等を中止すること。
 - ・すでに申し入れたとおり、業務上必要な異動を除き、一切の異動を中止すること。また、ワンマン運転の訓練を中止すること。
- 本人が感染した場合、咳・発熱等で疑いのある場合、濃厚接触者となった場合、休校に伴う子供の養育が必要な場合等については、会社の責任において「自宅待機」等として取り扱うこと。
- 車両、駅、休養室、詰所等の消毒、感染予防対策を会社の責任において徹底すること。
 - ・駅等での窓閉め作業等については支社課員及び地区指導センターから動員して対応すること。
 - ・マスク等が不足している。JRの責任でグループ会社を含めて感染予防対策を徹底すること。

しかし、列車の消毒をまともに行わない

ジョブローテーションを今すぐ中止しろ！

動労千葉は4月16日、新型コロナウイルスの感染予防に関する緊急申し入れをJR・CTSに対して行いました。状況は深刻化しています。拡大防止のためには、人と人の接触を最小限にし、徹底した消毒などの感染予防を行う以外にありません。

.....

だけでなく、ジョブローテーションによる「不要不急」の異動まで強行しています。なぜこんなことが平気のできるのか？ 現場労働者の命と健康を何だと思っているのか！

終電繰り上げ・列車削減を

CTSには「徹底した消毒」を行う余裕がないのが現実です。それは乗務員や検修職場、駅員にとっても深刻な問題です。

感染拡大防止のためには、少しでも業務量を削減して出勤者を減らす必要があります。主要路線の乗客は半減し、終電近くの列車の乗車率はかなり低くなっています。密集を避けながら終電を繰り上げる、日中の列車本数を削減するなどの対策は可能です。そうすれば、終電後の膨大な量の窓閉め作業の負担も軽減できます。

ただちに終電繰り上げなど徹底した感染防止策を行うべきです。